

について
 「浦島太郎の感想」 清水鈴
 日本人であれば一生に一度は絶対に読む
 「浦島太郎」は読むにあたって子供の童話に
 しては物語の教訓が何になのかが明確でない
 ことが分かる。なぜ浦島太郎は亀を助けたに
 も関わらず最終的にはお爺さんになってしま
 ったのかなぜ開けてはいけない箱をわざわざ
 さ乙姫様は渡したのかと様々な疑問が浮かび
 上がってくる。私も幼い時に読んだ記憶があ
 るのだが結局なぜ浦島太郎が老いぼれたお爺
 さんになったのかは不明で読み直すたびに気
 になかかっていた。そこでこの文章を書くに
 あたって自分で情報収集した結果、浦島太郎
 には「開けてはいけません」ではなく「また
 ここに来たいと思ったら開けてください」と
 言われて渡されるなど異なる話
 ンが存在する。それに従ってこの物語自体
 の、解釈の仕方が一つ一つ異なっているた
 め別にあって教訓を読み取るための物語では
 ないかと考えるのが最終的な意見である。

適当ではないだろう